

対話できる議会の新しい形

議員研修会

令和4年1月31日に、早稲田大学マニユフエスト研究所、招聘研究員佐藤淳氏をお迎えし、議員研修会を開催した。

幸田町議会の成熟度評価
議員全員への事前アンケートによる、幸田町議会の成熟度評価は、15の評価項目のうち、ほとんど1〜2点（3点満点）で、平均的な評価結果であった。

「議会活動の情報公開と説明責任」は、2・1と高得点であった。

「内部資源、議会図書室などと外部連携の活用」は0・6と低く、幸田町議会の弱点として、改善を指摘された。



研修風景

議員間討議の重要性

議案の論点整理、政策提言の問題洗い出し、議会運営上意見の擦り合わせなどが、重要であることを学んだ。

○議員所感

今後の議会活動の取り組みに、大変参考になる研修であった。

議員FT会活動報告

FT（フリートーク）会とは議員全員で行う自由討議

「議員のなり手不足を」

テーマに、17回開催を重ね、研究調査を進めてきたが、FT会のこのテーマとして、17回で区切りとした。今後は、議員全員で自由に討議できるテーマを選んで、活動していく。



幸田町議会だより 全国コンクール「奨励賞」受賞

令和3年4月発行の「議会だより180号」が、第36回町村議会広報全国コンクールで「奨励賞 言語・文章部門」を受賞しました。9年ぶり9回目の受賞となりました。今後わかりやすく、多くの町民に読んでもらえる広報誌づくりへ、努力していきます。



受賞を喜ぶ広報委員

議会見学とプレゼンテーション

令和4年1月17日、役場5階の本会議場にて、豊坂小学校6年生56人による、議会見学が行われました。

皆さん、初めて入る議場に興味津々の様子。プレゼンテーションのテーマは「幸田町の未来について」。クラスごとに発言台で元気よく、ハキハキと報告する姿は頼もしく、印象的でした。



始まりのあいさつをする児童

プレゼンテーション

テーマ「幸田町の未来について」

◇ 6年1組テーマ

「環境に配慮した幸田町」

町の住みよい空気をこれから先も守っていくために、公共交通機関を利用してCO2を減らしたり、グリーンカーテンコンテストを開催したりして、緑を増やす取り組みを提案されました。



6年1組のプレゼンテーション

◇ 6年2組テーマ

「活気のあるまちを目指して〜筆柿の良さを広める〜」

町の知名度をより高めるために、筆柿のレシピコンクールを開催したり、イベントに合わせた筆柿の販売を行ったりすることを提案され、SNSの活用やえこたんの宣伝についても考えられ提案されました。



6年2組のプレゼンテーション



質疑応答

問 議会はいつ、どんな時、どのくらいの頻度で行い、何を決めるのか。

答 年4回（3月、6月、9月、12月）開催される定例会と、必要な時に開催される臨時会があります。平日の昼間に開催しており、YouTube配信をしています。議会では町の仕事やそれに必要なお金の使い方（予算）、みんなが守らなければいけないルール（条例）を決めています。他にも町が正しく仕事をしているかチェックをしています。

問 最近の議題は。最終的にはどうやって決まるのか。

答 最近だと小・中学校や保育園の改築、新型コロナウイルス感染症対策がありました。町が出した議題（議案）に対し、議会で話し合っ「○」か「×」かを、議員の多数決で決定します。

問 よく行くお店で、遊水地よりも水田の方がたくさん水がためられ、助成金もあることを聞きました。田んぼで水害対策してほしい。堤防を高くして、田んぼを増やした方がいいと思います。

答 よく勉強されていますね。とても参考になりました。